

# 中核都市機能



福岡県第3の都市圏として、圏域人口約90万人の県南地域の中心都市として、さらには近隣の地域である佐賀県東部などを含む150万人の都市圏の中核都市として、高水準の都市サービスを提供し、県南地域の発展をリードする都市機能の整備・充実を図ります。そのために総合的な交通体系の整備や、拠点機能の充実を図る情報基盤、高度医療機能などを充実させます。

## 新市建設計画の主要な取り組み

### 地域振興を図る高次都市機能の整備・充実

- 広域拠点機能形成プロジェクトに取り組みます。
- 高度医療や高度教育機能を活かした都市づくりに取り組みます。



### 広域的な総合交通体系の整備・確立

- 東西及び南北の幹線道路、またそれらをつなぐ環状道路の整備に取り組みます。
- JR久大本線の新駅設置や列車の増便増発に取り組みます。
- 九州新幹線久留米駅などの乗り継ぎ機能の整備に取り組みます。



### 新時代をリードする戦略的な都市づくり推進

- 医療資源を活かし、医療福祉都市の実現に取り組みます。
- 高度情報都市の実現に取り組みます。

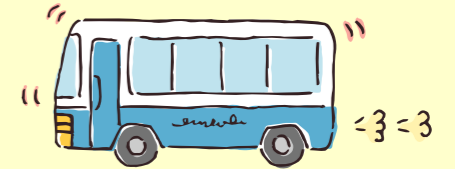
## 公共交通・土地利用に関する



### Q 路線バスやコミュニティバスはどうか？

**A** 合併時に実施されている路線バス対策は、原則として新市に引き継ぎます。運行されているコミュニティバスは、原則として引き継ぎます。

コミュニティバスについては、運行状況などを十分検討した上で、新市として取り組みます。



### Q 主要幹線道路の整備は進むの？

**A** 新市としての一体性を確保するため、国や県と協議して、道路の整備拡充に努めます。特に東西と南北の幹線道路や、環状道路の整備に力を注ぎます。

新市の各地域を結ぶ交通アクセス整備はもとより、新市のポテンシャルと周囲の都市圏への波及効果を踏まえて、広域幹線道路等の整備を推進します。



### Q 新市の都市計画はどうか？

**A** 都市計画区域、市街化区域と市街化調整区域の区域区分、用途地域については、当分の間現行どおりとします。

これらの見直しにあたっては、合併後の土地利用動向の調査を行い、併せて地域審議会等の意見を尊重します。

### Q 農業振興地域はどうか？

**A** 農業振興地域整備計画については、当面は各市町に既存の計画を推進し、平成19年度までに県の地域指定に基づき、新市としての計画を策定します。

#### 用語解説

**市街化区域**  
市街化区域とは、優先的かつ積極的に市街化すべき区域です。開発行為については、都市計画に適応し、一定の要件を具備すれば許可されます。

**市街化調整区域**  
市街化調整区域とは、市街化を抑制すべき区域です。開発行為については、原則として許可されません。

**用途地域**  
用途地域とは、都市計画区域内に定めるもので、将来的にめざす土地利用を住居系、商業系、工業系に分けることにより、快適な生活環境をまもるための制度です。